

# 吉岡しんたろうを応援する為の、SNS 作戦の概略

IT 化の益々進む昨今、人との繋がりや、昔ながらの有機的なものだけではなく「SNS」による電子上の繋がりが、現代生活には欠かせない「人間関係」となっています。これら各 SNS サービスを上手に使う事で、吉岡氏の支援に大きく貢献出来る事が期待できます。ただ、一口に SNS サービスと言っても、プラットフォーム毎に使い方と展開の仕方は異なりますので、それぞれの概略を以下に記しますので、御活用の上、積極的に支援の輪を広げて下さいます様に、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

※SNS とは、ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、日本語で「会員制交流サイト」と表現します。

## I. LINE

主に支援者への事務連絡に使用します。専用の掲示板の様なものとお考えください。特に公示後はこちらでのご連絡が中心となるので、ご自身や周囲の皆さまには必ずご登録頂けます様に、ご支援・働きかけの程を宜しくお願い申し上げます。

※登録のお願いには、読み取る事で自動的に公式 LINE へ飛べる「QR コード」をご使用下さい。

※QR コードは別紙に記してあります。

## II. Youtube

動画視聴サイトです。「吉岡伸太郎と保育の未来を考える会 (吉岡しんたろうチャンネル)」に、吉岡氏に関わる様々な動画を日々更新しています。LINE 同様、ご自身や周囲の皆さまに「チャンネル登録」をして頂けます様に、ご支援・働きかけの程を宜しくお願い申し上げます。尚、同所に上げる動画は概ね以下の通りとなっています。また同様に、Youtube の QR コードは別紙に記してあります。

### ①今週の一言

Youtube を通して、吉岡氏からのメッセージを毎週皆様にお届けします。1 分程度の短い内容ですので、朝礼や終礼の際に職員の方々等へお見せ頂き、途切れる事なくの支援の思いが継続します様に、どうぞ御活用下さい。

### ②研修動画

「保育業界の問題①～⑥」や、講演会・研修会等の映像を御視聴頂けます。講演・研修等をそのまま御視聴頂ける長いものや、テーマ別に短時間に編集したもの等があるので、その時々のご都合に合わせてご利用頂けます。是非、職員研修にご使用頂き、ご理解とご支援へ繋げて頂ければ幸いです。

### ③その他

事務所開きや園訪問での様子等々、時間・空間の都合上、なかなか皆様に御同席頂けない場へお招きし、臨場感をもってご覧いただけます。こうした様々な吉岡氏の姿をお見せする事で、皆様お一人お一人の共感や支援に繋がればと考えています。適宜ご利用頂ければ幸いです。

## III. Twitter (ツイッター)

1 回につき 140 文字までのメッセージを投稿 (=ツイート) 出来る SNS です。こちらは問題意識の高い利用者がやや多いのが特徴です。投稿者自身の発言を通して吉岡氏への支援や保育への問題提起が

出来るのは勿論の事、他 SNS と同様に、Youtube 動画等を引用した投稿（＝引用ツイート）が可能ですので、「これは多くの方に観て頂きたい！」と思える動画を、拡散する手段として使用できます。効果的にご利用いただく為に、V フェイスブック以下の①～③をご参考下さい。

#### IV. Instagram（インスタグラム）

若い世代を中心とした代表的な SNS であり、若い保育士さんに周知するには大変効果的な媒体です。上記ツイッターが「短い言葉」で心に訴えかけるとしたら、こちらは「視覚効果」で訴えかける要素が強いのが特徴です。この「視覚効果」には、ショート動画の様な独特の「ストーリーズ」や、ポスターの様に写真に文字や様々な効果を加えるもの等がありますが、使いこなすには独特の技術とセンスが必要ですので、ツイッター同様に、まずは利用している方を探す方が手っ取り早いと言えそうです。

「保育と未来」アカウントでは吉岡氏の活動報告等を中心に投稿をしており、主義主張を伝え、人となりを見せる Youtube に対して、興味と親近感を持って貰うのが主眼となる使い方と言えそうです。効果的にご利用いただく為に、V フェイスブック以下の①～③をご参考下さい。

#### V. Facebook（フェイスブック）

上記インスタグラムと比べるとやや年齢層の高い、SNS の代表格。写真や動画の共有・引用をしながらの長短自在なコメント付けが可能です。こちらもインスタグラムと同様に、「保育と未来」アカウントでは吉岡氏の活動報告等を中心に投稿をしています。他 SNS 同様、まずは利用している方を探す方が手っ取り早いと言えそうです。効果的にご利用いただく為に、以下の①～③をご参考下さい。

### ★Ⅲ～Ⅴのサービスを使って、効果的に支援を展開する為に

#### ①利用者を探し、お願いする

既に利用している方がいないかスタッフ・ご家族等、周囲に聞き込みをして頂き、既に利用している方々に、②～④のお手伝いをして貰える様にお願いをするのが、手っ取り早く大きな力になります。

#### ②拡散する

Youtube 動画を引用した発言（＝引用ツイート）や、インスタグラム等で作った「素材」や、また拡散する為に作成されたショート動画等をシェア・拡散する。

#### ③フォローし合う（＝支援の輪を広げる）

吉岡氏を SNS 上で支援している方（その時点で、同士です）を見かけたら、即フォローし合い、支援の輪を広げましょう。

#### ④「いいね」ボタンを押す

折角の投稿も、一人でつぶやいているだけでは意味がありません。「いいね」ボタンを押し合って、その数が増える事で、投稿内容が他の人の目に触れやすくなります。吉岡氏を支援している投稿を見かけたら、すかさず「いいね」を押す様に、心掛けましょう。

一人の力は一人分の力でしかありませんが、この 4 点に努めるだけで支援の輪は着実に広がり、吉岡しんたろう支援の大きな力となります。別紙、各種 SNS アカウントの QR コードを使って、支援の輪をどんどん大きくして頂けます様に、伏して御願い申し上げます。